

純国産のマニュアル制作システム 「PMX」のご紹介

～メジャーバージョンアップの概要も先行して一部ご案内～

2025/8/28
株式会社サイバーテック
ソリューション営業本部
戸田 光彦

～会社概要～



株式会社サイバーテックについて



Manual & Web Solutions

会社名：株式会社サイバーテック (CyberTech corporation)

代表者：橋元 賢次

設立：1998年9月8日

資本金：5,000万円

所在地：

【本社】東京都渋谷区道玄坂1-20-1 Osawa Bldg.5F

【セブ ITアウトソーシングセンター】フィリピン セブ島

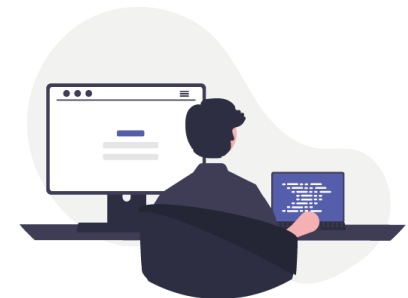
マニュアルDX事業



Webソリューション事業



開発・制作支援事業



Web CMS事業



Webソリューション事業

動的Webもまるごとお任せ！

CMSの新規導入や移行をはじめ、サーバーを含めたWebサイト運用やWebマーケティング支援まで、皆様のWebサイトをフルサポートいたします。



サブスクWeb運用
月額5万円でWebサイト運用



**WordPress導入・構築・運用
サービス**



Webマネージドサービス



**Webマーケティング・コンサル
テーション**

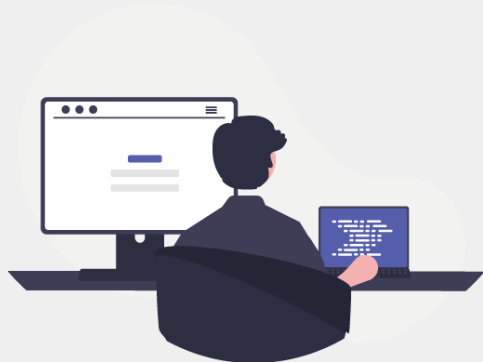


CMS導入・マイグレーション



Web制作・リニューアル

開発・制作支援事業



開発・制作支援事業

リーズナブルにご支援！

PHP・Javaによるアプリケーション開発や、AIによるWebコンテンツ生成・日英翻訳サービスを、高品質かつリーズナブルに実施いたします。



Webアプリケーション開発・
マイグレーション



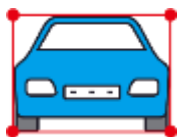
動画・画像データの
編集・修正・変換・チェック



コンテンツデータやテキスト
データの整理・整形



ITヘルプデスク代行
(日本語・英語)



AI向け学習データの作成
(アノテーション)



AI向け学習データの拡張
(アーギュメンテーション)

マニュアルDX事業



マニュアルDX事業

読んでもらえるマニュアルに！

マニュアル用CMS「**PMX**」と公開プラットフォーム「**DocuPortal**」、コンサルティングにより、効率化とユーザーロイヤリティの向上をもたらします。



マニュアルの再利用率向上と分業化・多言語化・ワンソース出力を行うCMS

DocuPortal

マニュアルなどの様々なコンテンツを公開するポータルシステム



「なんでも・はやく・簡単に」
国内シェアNo.1のXML DB



PIM（製品情報DBシステム）
～ノーコードで複雑な情報を管理



マニュアルのWeb化・ライティング・翻訳



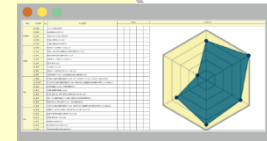
マニュアル診断・コンサルティング

マニュアルDX事業～読んでもらえるマニュアルにします！



マニュアル診断・評価

- ・無料簡易診断
- ・有料診断レポート



マニュアル コンサルティング

- ・スタイルガイド（制作基準書）の作成
- ・目次構成の見直し（構造化）
- ・レイアウトやデザインの改善提案
- ・制作プロセスの改善提案



DTPツールでの制作



Web公開

Web CMS 公開ポータル



DocuPortal

マニュアルCMS

- ・分業化（脱 属人化）
- ・多言語化
- ・ワンソース配信

マニュアルからDX
PMX

～PMXのご紹介～



マニュアル作成支援システム「PMX」で解決できる3つの課題

属人的な現状をカイゼンして、コンテンツの再利用率を上げたい！

1

分業化

役割を分担して属人化から脱却、コンテンツの再利用率も向上！



Wordライクなエディターで担当箇所をライティングすることで、分担作業とコンテンツの再利用率が向上し、**属人的な制作フローから脱却**できます。Webブラウザで操作できるため、テレワークとの親和性が高く、ハイスペックPCも不要です。

多言語展開したいが、改訂品質や翻訳コストが気になる！

2

多言語化

コンテンツの部品化とAI翻訳でリーズナブルに多言語展開！



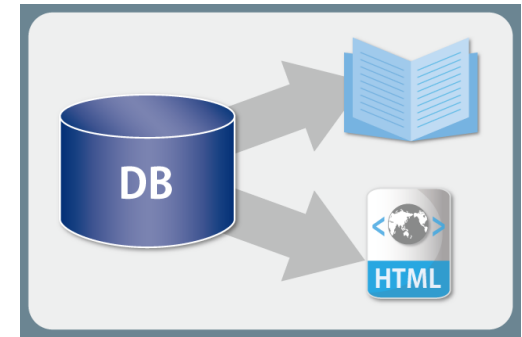
多言語マニュアルの作成～改訂管理は非常に煩雑ですが、「PMX」ではコンテンツの部品化と再利用により、**改訂運用の品質向上**を実現します。さらに、**AI翻訳やCATの活用**により、スピーディかつ低コストでマニュアルの多言語化が行えます。

HTMLマニュアルをメインとしたいが、PDFデータも必要！

3

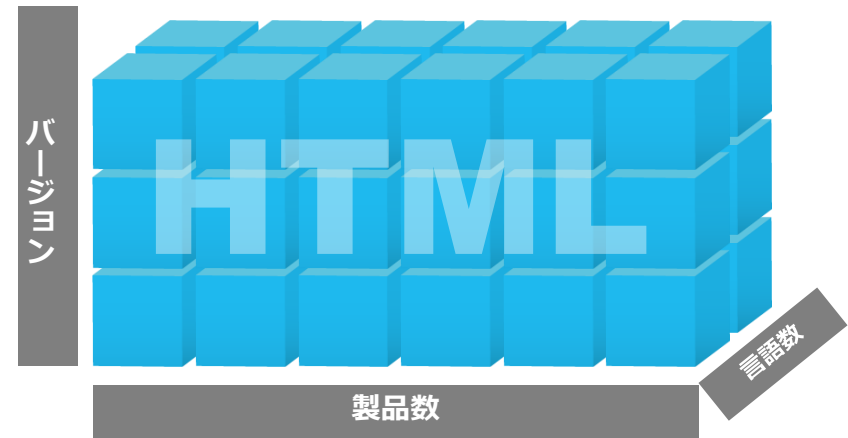
組版と電子化

ワンソースからHTMLマニュアルと印刷にも使えるPDFを一括出力！



「PMX」では、コンテンツを一元管理しているため、HTML形式による電子マニュアルや自動組版によるPDFを**ワンソースで出力**できます。また、**動画の活用**によりサツと理解することが求められるオペレーションマニュアルなども作成できます。

CMSが向いているマニュアルとは？



- ✓ ページ数が多い
- ✓ 類似機種が多い
- ✓ 重複コンテンツが多い
- ✓ 複数言語で展開
- ✓ 改訂が発生
- ✓ HTMLとPDFが必要

現実的ではありません！



☆☆ 課題が2項目以上あれば 効果あり! ☆☆

分業化

多言語化

組版と電子化



ディレクターとライターによる分業で「脱 属人化」

②ライター：ロック解除

ログアウト

①ディレクター：目次作成 ⇒ 該当URLをライターに

③ライター：Wordライク なエディタで作成

④ディレクター：ライ ティング内容を手直し

The screenshot displays the PMX web editor interface. On the left, a sidebar menu lists various functions: ホーム (Home), トピック (Topic), 素材 (Material), マップ (Map), 出力指示データ (Output Instruction Data), 承認フロー (Approval Flow), スタイルシート管理 (Style Sheet Management), Webフォント管理 (Web Font Management), and PDF出力設定 (PDF Output Settings). The main content area shows a topic titled '安全上のご注意' (Safety Precautions) under the 'ABCシリーズ' (ABC Series) category. The interface includes a top navigation bar with buttons for '翻訳依頼' (Request Translation), '資料申請' (Request Materials), '複製...' (Duplicate...), and 'バージョンアップ...' (Upgrade Version...). Below the topic title, there are tabs for '閲覧' (View), '編集' (Edit), '属性情報編集' (Edit Attribute Information), 'ヘッダーとフッター' (Header and Footer), '掲載素材' (Published Materials), 'マップ' (Map), 'XML', 'コメント' (Comments), 'Word', and '複製情報' (Replication Information). The '編集' (Edit) tab is active, showing a rich text editor with various formatting options like bold, italic, underline, and color. The editor also includes a 'Google翻訳' (Google Translate) and 'DeepL翻訳' (DeepL Translate) button. The title field is set to '安全上のご注意'. The main content area displays a warning message: 'ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。' (Before using, please read this 'Safety Precautions' carefully and use it correctly.) followed by a table with two rows: '警告' (Warning) and '注意' (Caution), each with a corresponding icon and text. The bottom of the editor shows a '絵表示の例' (Example of Drawing Display) section.

3つの課題

分業化

多言語化

組版と電子化



マニュアルの多言語化とCMSとの関係

グローバル展開による多言語化ニーズの拡大

- 複数言語も「日本語 ⇒ 英語 ⇒ 多言語」の流れで展開！
- 中国語や韓国語などの場合、日本語から展開する事も可能！



CMSで言語ごとの関連情報を管理！

ニューラル機械翻訳の劇的な性能向上

- 部品化～共通化で、機械翻訳による翻訳精度向上！
- 翻訳メモリの活用と人手調整により、改訂コスト削減！



CMSと親和性の高い機械翻訳を最大限活用！

3つの課題

分業化

多言語化

組版と電子化



Webマニュアルが進む理由

- ① 紙では配布コストもかかり、持ち歩きも困難。
⇒電子化によって軽量化が可能！
- ② 紙では目的の箇所に素早くたどりつけない。
⇒PDFにすれば検索が可能！
- ③ 巨大なPDFでは高スペックの閲覧用端末が必要。
⇒HTML形式で見たいページのみ閲覧可能！

HTMLマニュアルのみ準備すればOK？



しかしながら・・・PDFもまだまだ必要！

① いつでも印刷可能

- ・俯瞰的に見れる
- ・現地代理店からの冊子要望（新興国やネット環境が無い場所など）
- ・査読用に印刷して回覧
- ・認証取得の要件として必要

② 物理的な納品物として

- ・マニュアルを「届ける」ためには必須 ※情報公開だけではNG

③ トラブル発生時の対応

- ・エビデンスとして利用など



※CEマーキングの「基本的な健康と安全の要件 Essential Health and Safety Requirements (EHSRs)」では、一般的に紙での提供が必要。

PMXのマニュアルも、PMXで作成しています！

▼PDF

【リンク挿入／編集】

文中にリンクを挿入することができます。

【外部のURLをリンク先として指定する場合】

外部のURLをリンク先として指定する場合の手順は、次のとおりです。

- ① ハイパーリンクを貼りたいテキストを選択し、〈リンク挿入／編集〉ボタンをクリックします。
選択するものがない場合は、ハイパーリンクを挿入したい場所をクリックします。



② **【ハイパーリンク情報】** タブで遷移先のURLを入力し、〈OK〉ボタンをクリックします。
リンクタイプ「URL」が選択されていることを確認し、遷移先のURLを入力します。



③ 外部URLへのリンクが貼られます。



▼HTML

PMX

ドキュメントの共同制作・管理システム

【リンク挿入／編集】

文中にリンクを挿入することができます。

【外部のURLをリンク先として指定する場合】

外部のURLをリンク先として指定する場合の手順は、次のとおりです。

- ① ハイパーリンクを貼りたいテキストを選択し、〈リンク挿入／編集〉ボタンをクリックします。
選択するものがない場合は、ハイパーリンクを挿入したい場所をクリックします。



② 準備

Copyright © 2013-2023 CyberTech Corporation All Right Reserved.

このようなマニュアルがワンソース出力できます！

※PDF換算で約450ページ



マニュアル作成支援システム「PMX」

分業化

多言語化～組版と電子化

ワンソース出力

脱 属人化

再利用率向上

標準化/平準化

構造化



入稿・修正



編集



翻訳・PE



ワンソース
出力



ダウンロード

DocuPortal



外部Webサイト



AI翻訳・
CATツール

マニュアル用CMSとして見た「PMX」について

■ DITA的な視点～コンテンツの共通化と再利用性

- PMXはマニュアルコンテンツを「トピック」という部品単位で制作し、「マップ」でトピックをマッピングすることで一冊のマニュアルとして作成（トピックライティング）します。そのため以下のようなことが可能となっております。
- 過去に作成したトピックをそのまま再利用することが可能です。
- 複数のマップから参照しているトピックを更新すると、全てのマニュアルに対して一括更新が可能です。※設定により、特定のマニュアルのみ一括更新の対象外とすることも可能です。
- PMX上でトピックを複製した上で一部のみ変更する形での流用が可能です。
- 過去のトピックを組み合わせた「スタートアップマニュアル」「クイックリファレンス」といったドキュメントを、マップの編集のみで作成できます。
- 10万件以上のトピックデータの管理実績もあり、十分なパフォーマンスが発揮できます。

マニュアル用CMSとして見た「PMX」について

■ DAM的な視点～素材管理について

- PMXはDAM（デジタルアセットマネジメント）機能を搭載しており、画像や動画といったマニュアル制作で利用する素材を管理する機能が充実しています。
- HTMLマニュアルではイラストをJPG等に変換して利用しますが、作成したAI形式などの元データも一緒に管理することが可能です。
- エクスプローラー風のUIを用意しており、どなたでもカンタンな操作で素材データを管理することができます。
- 素材データに検索用のタグ情報（属性情報）を付与できますので、素材の数が増加した場合であっても、タグ検索により目的のデータを探すことができます。
- 6万件以上の素材データの管理実績もあり、十分なパフォーマンスが発揮できます。

マニュアル作成支援システム「PMX」構成図



素材管理サーバ（DAMサーバ）のみの個別提供も可能です。

※利用可能機能：多言語素材管理・タグ検索（属性情報検索）・元データ管理・派生素材管理など

PMXの強み～製品面

PMXは **100%自社開発の製品** となっており、
以下の点において日本国内企業様を中心に好評価を頂いております。



- 豊富なオプション機能は後から追加が可能であるため、**スモールスタート**に適しています。
- 日本企業につき、**国内ユーザからのご要望を最優先**に対応しています。
- 自社開発製品のため、ご要望に応じた機能を**柔軟に追加可能**です。
- バージョンアップを毎年行い、**継続的な機能強化**を実施しています。
- スタイルシートは**お客様による修正や開発**が可能です。

PMXの強み～サポート面

PMXは **100%自社開発の製品** となっており、
以下の点において日本国内企業様を中心に好評価を頂いております。



- 制作会社ではなく開発会社なので、お客様対応はIT製品ベンダーとしてしっかりと実施いたします。
- 三井物産のサポート品質。同社から事業譲渡を受けたXMLデータベース製品「NeoCore」と同様のクオリティでご提供しております。
- 頂いたお問い合わせは当日中に一次回答。制作の手を止めない、国内メーカーとして、スピーディな技術サポートをご提供しております。
- 既存データの移行作業などは、リーズナブルな 弊社オフショア サービスを活用頂けます。

マニュアル用CMS「PMX」の導入は。。

トリセツはセキュアなクラウドに！



クラウドは不安
⇒ 固定IPによるアクセスで逆に安心！

マニュアル用CMS「PMX」の導入は。。。。

オンプレやプライベートクラウドも大丈夫です！



マニュアル用CMS「PMX」料金体系

100,000 円 / 月 ネームドプラン	200,000 円 / 月 フローティングプラン	ASK 円 / 月 カスタマイズドプラン	※1
---	--	--	----

ユーザ数	5 (ディレクター1、ライター1)	100 (ディレクター1)	ASK	
同時アクセス数	同上	3 ※レビューワーは除く	ASK	
初期トピック数	5000	10000	ASK	※2
初期ディスク容量	10GB	30GB	ASK	※2
管理者権限	—	●	●	
カスタマイズ対応	—	—	●	
オンプレミス対応	—	—	●	

作成可能となるマニュアルの冊数、および出力済マニュアルの閲覧可能ユーザ数に制限はありません。

ネームドプランとフローティングプランの費用には、クラウド基盤利用料も含まれます。

※1 年間一括のお支払いとなります ※2 追加費用は5000トピックごとに1万/月、20GBごとに1万円/月となります (いずれも税別)

マニュアルCMSの導入に際して、お伝えしたいこと

Small Start

メリット・デメリットは
バーターと捉えて
「スモールスタート」



～PMX導入事例～



PMX導入事例（スカイコム様）

ソフトウェア開発、販売を行っているスカイコム様では、製品のマニュアルをWordで制作し、PDF形式で提供していたが、製品の種類や機能が増えるに従ってボリュームが増加したため、検索性や閲覧性の向上が課題となっていた。そこで、「オフラインでの検索機能がある」「スタイルシートを自社で開発可能」かつ自社の利用環境に最も合致する「PMX」を採用した。

項目	内容
業態	ソフトウェアプロダクトの開発・販売
従業員数	約80名
契約形態	クラウド
利用ユーザー数	3
対象マニュアル	製品マニュアル（操作説明書、ユーザーズマニュアルなど）
導入の目的	- PDFより検索性、閲覧性に優れたHTMLマニュアルを効率的に制作したい - 今後増加するマニュアルを効率的に制作、管理する環境の導入が必要だった
導入後の効果	- HTMLマニュアルの提供によるお客様へのサービス向上 - 多言語管理機能で日英マニュアルを効率的に制作する環境を実現

PMX導入事例（A社）

家電製造業のA社では、自社製品の取扱説明書をPDFでサポートサイトに公開していたが、同社製品のユーザーである一般消費者はスマートフォンやタブレットで閲覧することも多く、視認性や検索性が課題となっていた。そこでPDFでの展開も維持しながら、レスポンスデザインに対応したHTMLマニュアルも作成する事とし、コンテンツの部品化も行える制作ツールとして「PMX」を選定した。

項目	内容
業態	家電の製造・販売
従業員数	約6,000名
契約形態	クラウド
利用ユーザー数	13
対象マニュアル	自社製品の取扱説明書
導入の目的	• PDFも残しつつ、HTMLマニュアルで顧客満足度を向上させたい • 製品共通のコンテンツについて部品化を行うことで効率化したい • 内製化に伴い、不明点はサポートをしてほしい
導入後の効果	• レスポンスHTMLで検索性、視認性の高いマニュアルを提供 • 制作と並行してコンテンツの部品化も推進 • 並走型によるテクニカルサポートで、滞ることなく制作が進行

PMX導入事例（S社）

検査装置製造業のS社では、自社製品の取扱説明書を紙およびPDFでユーザーに提供していたが、顧客の利便性向上のためにHTMLマニュアルを製品に組み込むことをはじめ、多言語展開を行う場合の効率化が課題となっていた。従来のPDF形式も併用して今後も提供を継続するため、HTMLとPDFのワンソース出力が行えるマニュアルCMSの導入検討を進めた結果、「PMX」の採用にいたった。

項目	内容
業態	検査装置の開発・製造
従業員数	約300名
契約形態	クラウド
利用ユーザー数	8
対象マニュアル	自社製品の取扱説明書（ハードウェア、ソフトウェア）
導入の目的	・ 内製制作環境を効率化したい ・ PDFに加えてHTMLマニュアルも制作したい ・ 多言語マニュアルを効率的に制作したい
導入後の効果	・ 導入前と比較して30%の工数削減を達成 ・ HTMLマニュアルを製品に組み込むことで利便性向上 ・ 翻訳支援ツールと連携することで多言語展開を効率化

～ドキュメント公開ポータル 「DocuPortal」～



「DocuPortal」 基本機能

ドキュメント公開機能

様々なコンテンツを公開するポータルサイト基盤として機能します。ログイン認証によるセキュアなコンテンツ公開、あるいは不特定多数へのコンテンツ公開のいずれかを選択できます。

コンテンツアップロード機能

様々なドキュメントを直接ポータルシステムにアップロードすることができます。アップロード可能となるファイル形式は問いません。

検索機能

公開登録したコンテンツを、本文も対象とした検索により抽出することができます。

様々なユーザ権限

管理者、ドキュメント管理者、一般ユーザ、閲覧ユーザなど、権限に応じたドキュメントの閲覧～管理、更新などが可能です。

様々な管理者機能

アクセスログの取得や、ユーザ権限の切り替えなど、様々な管理者機能を有しています。

シングルサインオン

現在ご利用の認証システムとシングルサインオンも対応可能です。

マニュアル作成支援システムとのシームレス連携機能

多彩な機能を持つマニュアル作成支援システム「PMX」で作成した、任意のバージョン・言語のマニュアルを、HTMLとPDF形式でシームレスにWebポータルでの公開が可能です。

ドキュメント公開ポータル「DocuPortal」

多言語化～組版と電子化

ドキュメント公開ポータル

閲覧

権限管理

アクセス情報

横断検索

シングルサインオン

マニュアルからDX
PMX



ワンソース
出力

DocuPortal

DocuPortal

メニュー一覧 | ログイン/ログアウト | 検索

画面1: 公開コンテンツ

ID	タイトル	作成日時	更新日時	操作
1	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:03		編集
2	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:16		編集
3	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:46		編集
4	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:04		編集
5	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:43		編集
6	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:18		編集
7	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:23		編集
8	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:43		編集
9	ドキュメント公開ポータル	2023-03-16 17:38:43		編集

Copyright (C) CyberTech Corporation Ltd. All Rights Reserved.

公開



閲覧ユーザー



アカウント管理



管理者

アップロード



一般ユーザー

～PMX7.0に向けて～



PMX7.0に向けて

- 現在、次期メジャーバージョンアップ版である「PMX7.0」を計画しております。

- ☑ コンテンツロック方式の変更
- ☑ 管理者による複数トピックのロック解除やロック不可設定機能の追加
- ☑ 複数のPMXサーバー間のXMLデータ連携
- ☑ 翻訳元言語の複数化対応
- ☑ トピック、マップ、素材の属性項目カスタマイズ機能の強化
- ☑ 翻訳情報表示機能の強化

Ver. UP!

お問い合わせ先



Manual & Web Solutions

株式会社サイバーテック

<https://www.cybertech.co.jp/>

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-1

Osawa Bldg.5F

TEL. 03-5457-1770

E-Mail : mitsuhiko.toda@cybertech.co.jp

※ ここで使用されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。



社長からの メールによるご案内、
毎月お送りしております！